



年間スケジュールの改編を行います

昨年度来、提案してまいりましたが、より参画しやすい県事協事業運営を目指して、各種会合等の回数・開催時期を変更いたします。

具体的には、年間の事業計画の提案を3月のうちに行う等の工夫をすることで、評議員会を年4回から3回へ、理事会を年9回から7回へ減らしました。その他、総代会を8月開催から6月下旬～7月上旬開催（今年は7月5日）へ前倒しで行うことにしました。

現行のスケジュールから大きく変わりますので、蓋を開けてみないとわからないところはありませんが、今後も県下の学校事務職員が等しく情報を共有・享受し、広域的に連携するという目的を達せられるよう地道に運営していきたいと思っております。ご理解とご協力をお願いいたします。

今年度の主な事業計画

第19次県費事務改善検討委員会設置
学校事務現状報告会開催

HP更新・県事協だより発行
県事協データ版のHPへの移行推進

学校事務現状報告会の今後について

今年度は8月9日（金）に互助組合会館大会議室での開催を予定しています（公文は後日発送）。学校事務職員が一堂に会して研修する機会として、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

2011年を皮切りに、内容や運営方法も変化しながら開催し続けてきましたが、今年度、報告地区のローテーションが一区切りとなるところで、来年度は一旦休止することになっています。それ以降の現状報告会については、会当日のアンケートや年度後半に実施予定の県事協アンケートの結果も参考にしながら、開催の是非、開催する場合はその運営方法等、1年かけて議論を行っていく予定です。

第19次県費事務改善検討委員会の活動

諸手当認定電算マニュアル等の更新を中心に、諸手当認定・電算マニュアル班、実務手引書班、福利厚生関係実務班に分かれ、主に夏季休業期間を使って作業を進めていきます。

また、今年度も、本県において共通認識した方が良いと思われる事例や、実態に即した質疑応答を充実させていくため、各地区から提供された質疑応答の事例の編集を行っていきますので、地区研修会や支援室等で出された事例をお持ちの方は、「質疑回答等提供用紙」にご記入のうえ、各地区の集約担当者へご提出ください。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

諸手当認定・電算マニュアル班

常任委員5名、各地区からの検討委員4～5名、担当理事5名で組織されます。

マニュアルに関する要望、加除修正部分及び、各地区からの質疑応答事例を整理・検討し、マニュアルの整備・更新作業を行います。作成されたデータは、県事協HP公開（5月頃）を行うとともに、教育用品株式会社の追録印刷サービスへ提供します。

実務手引書班

常任委員2名、各地区からの検討委員5～6名、担当理事1名で組織されます。

実務手引書（給与振込編・給与電算編・出力資料編・給与事務編）の編集のほか、各地区からの質疑応答事例の収集や各手引への要望、加除修正等の意見集約を行います。作成されたデータは、県事協HP公開（5月頃）を行うとともに、教育用品株式会社の追録印刷サービスへ提供します。

福利厚生関係実務班

常任委員1名、各地区からの検討委員2名、担当理事1名で組織されます。

「出産・育児」ハンドブックと、各団体（共済組合・互助組合・共助会・福利厚生事務センター）の様式記入例の整備を行います。作成されたデータは、県事協HP公開（3月頃）を行います。

県教委教職員課・総務福利課・県教職員福祉事業連絡会訪問

4月26日（金）に訪問させていただき、県費事務改善検討委員会事業等への協力をお願いしたところ、各所ともご多忙にもかかわらず丁寧に対応してくださいました。今年度も協力をいただきながら、事業運営を進められることに心から感謝いたします。

鹿児島県教職員福祉事業連絡会からのお知らせ

鹿児島県教職員福祉事業連絡会は、教職員のための福利厚生事業を行っている、下記の5団体で構成する連絡会です。

公立学校共済組合鹿児島支部
鹿児島県学校生活協同組合

鹿児島県教職員互助組合
教職員共済鹿児島県事業所

鹿児島県教職員共助会

それぞれの団体の事業計画や実施状況を年2回交流しながら、互いに事業の充実に役立てています。教職員の皆様は、安心して学校等で働けるよう、事業や活動を充実させていきますので、今年度もよろしくお願ひいたします。

公立学校共済組合 鹿児島宿泊所

「ホテル ウェルビューかごしま」の御案内
お得な利用補助制度等についてご紹介いたします

1 利用補助制度について

宿泊利用補助

組合員、被扶養者及び同伴する親族が宿泊で利用したときに、料金の一部を補助

1泊当たり	6,600円以上の利用で	3,000円補助
"	4,400円 "	2,000円 "
"	2,200円 "	1,000円 "
"	1,100円 "	500円 "

補助回数 年度内12泊まで(被扶養者及び親族の補助回数は組合員に通算)

会食等利用補助

組合員、被扶養者及び同伴する親族が食事や宴会等で利用したときに、料金の一部を補助

1人当たり	4,400円以上の利用で	2,000円補助
"	3,300円 "	1,500円 "
"	2,200円 "	1,000円 "
"	1,100円 "	500円 "
"	660円 "	300円 "

おせち料理は本体価格(税抜)の半額を上限とする複数回分の補助利用可

補助回数 年度内12回まで(被扶養者及び親族の補助回数は組合員に通算)

慶事・法事利用補助

組合員若しくは被扶養者が、組合員、被扶養者又は親族を対象とする慶事・法事で利用したときに、料金(税抜)の2分の1を補助(上限5万円) テイクアウトと仕出し料理適用可 補助回数上限なし

2 イベントスペースの提供について

学校・教育機関等の教育活動をPRする場として、当施設の空きスペース(多目的ショールーム等)を無料で提供します。

展示期間等お気軽に御相談ください。

ホテルウェルビューかごしま

TEL 099-206-3218(受付時間9:00~18:00)

お気軽にお問い合わせください。

共助会の事業案内

会費は生業資金として既納
会費相当の額を給付して
います!
給付・貸付・貯金・福利厚生
事業等も充実!



給付金の種類 充実した給付金!

結婚祝金・出産祝金・病氣感謝料
災害見舞金・香華料・弔慰金
配偶者弔慰金・現職会員特別給付金・現職会員研修費
永続会員記念品代・新規採用祝金・現職個人会員奨励金等

貯金の種類 高利率!

規約貯金 年利0.312%(1年未満0.18%)
定額貯金 年利0.42%(5年満期、500万円まで)

貸付金 困ったときにご相談ください!

生活資金・特別資金 年利率0.900%、貸付保険料0.75%
他に、住宅資金・教育奨学資金・引越資金があります。

保険の団体取扱 割引となりお得!(一部対象外の商品有り)
現在個人でお支払いされている保険を団体取扱に変更されると割引となりお得です。取扱い保険会社 生保15社 損保1社
福利厚生事業 超お得!

映画鑑賞チケット購入補助事業

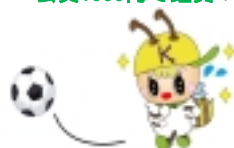
映画鑑賞料補助1回500円(年度内3回まで)

「天文館シネマパラダイス」「マルヤガ
ーデンスシネマ」「鹿屋リナシアター」
「奄美シネマパニック」が対象

天パラでの鑑賞はお得!
セラ駐車場4時間無料!

会員割引とあわせて**現職
会員1000円で鑑賞!**

お得すぎるにも
ほどがある~!



他映画館はシステム上提携できて
いません。

鹿児島ユナイテッドFC応援企画
共助会の会員様とご家族を含め

た5人までをホームゲームに4回までご招待!

地区活動 お得な企画がもりだくさん!

各地区に地区運営委員会を設置し、地区ごとに活動しています。現職会員も参加しやすい行事もあります。

詳細は、HPをご覧ください!



〒892-0816 鹿児島市山下町4番18号

電話 099(226)5953

FAX 099(226)5955

H P <https://www.kyojo.jp>

メール info@kyojo.jp

各地区の事務職員会等の紹介

大島地区から

～喜界町事務職員会の紹介～

喜界町事務職員会は、喜界小学校・早町小学校・喜界中学校の3校3人で組織しています。町事務職員研修会を年間5回計画しており、研修内容としては、町費執行事務・就学援助事務・給食費事務・町補助金請求業務の基本的な流れや事務説明を行うことを中心としています。学校事務支援室は年間17回計画しており、業務内容は、諸手当認定事務・相互自主検査・年末調整点検・年5回の広報紙・条例規則改正時の共通理解を行っています。また、町事務研の中で研修したことの中で不明な点が出てきた時には支援室内で解決するようにしています。以前から課題であった「町関係業務の事務説明を転入職員へどのようにスムーズに引き継がせるか」ということを受け、昨年度に「喜界町事務マニュアル」を作成しました。

～喜界町小中学校の紹介～



喜界小学校は、5校の旧小学校が統合してできた学校です。島内を走るスクーターバスに乗って登下校をする子どもたちもいます。授業中は、1つ1つの勉強にしっかり励み、昼休みは子どもたちと先生がサッカーをしたり、鬼ごっこをしたりとメリハリを付けて、楽しく充実した時間を過ごしています。喜界小学校は、児童・職員の全員が本校のキャッチフレーズである「ワクワク登校、ニコニコ下校」ができるような明るい学校です。

早町小学校では、喜界島の特色や伝統にふれあう取り組みをしています。校内にはみかんやバナナやパイナップルなどの木が植えてあったり、喜界島の言葉や各集落の歌や踊り、黒糖のお菓子作りなどを学ぶことを通して喜界島の文化を大事にしてほしいと考えています。児童数が年々減少していますが、学校の広い敷地を利用して元気に諸活動に取り組んでいます。



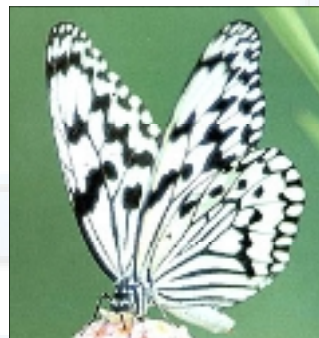
喜界中学校は、島内唯一の中学校であり約170名の生徒が在籍しております。コロナの収束に伴い行事等も復活し、更に生徒たちがイキイキしているように感じます。また部活動では、多くの部が県体に出場を果たすなど、離島のハンデを全く感じさせない成績を残しています。生徒たちの頑張りにはまさに、校訓である「志・創・錬」を体現しています。

～喜界町の紹介～

喜界島は人口約6,400人の小さな島で奄美大島の東側に位置しています。名産品としては、ごまが有名で全国の国産シェアの約70%を占めており、日本一の生産量です。交通機関は、飛行機が鹿児島と奄美に毎日2便ずつと週5回のフェリーが運航しており、喜界島と鹿児島本島・奄美大島を繋いでくれています。

喜界島は蝶が多いことも有名であり、春になると様々な種類の蝶が舞っています。右の写真は「オオゴマダラ」と呼ばれる蝶で、ゆっくり羽根を動かして舞う姿はとても優雅であり、「南の島の貴婦人」と呼ばれています。

夏場にコバルトブルーの海に潜ると、色とりどりのたくさんの熱帯魚と珊瑚がお出迎えをしてくれたり、冬場に空を見上げると、満天の星空を見ることができたりと、喜界島はいろんな自然を楽しめる島です。ぜひ、何かの「き・か・い」がありましたら、喜びの島 喜界島へ遊びに来てみてください！



始良市小中学校事務職員研修会の紹介

始良伊佐地区から

- 学校数 小学校 17校 中学校 5校 計 22校
- 事務職員数 小学校 17名(複数配置校1・兼務校1)
中学校 7名(複数配置校2) 計 24名
- 研修回数 年 4回

始良市について

「始良市」は、平成22年に始良町・加治木町・蒲生町が合併し誕生しました、鹿児島市や霧島市へも交通アクセスの利便性がよく通勤可能です。住み心地もよく、多くの文化財や名所が点在する観光地もありながら、大型のショッピングセンター等の商業施設もあり人口も増加し、ますます発展しています。

始良市事務職員研修会について

年間4回の研修会があります。研修会はまず市教委への質疑から始まります。

事前に質疑を募り質疑内容を確認しながら、市教委の回答を得ることになります。

その後、「各支援室」や「個人研修」での事例研修があります。特殊事例や条例規則等の変更点など毎回自主的に事例を持ち寄り相互研修しています。

時間があれば、毎回テーマを決めて「グループ討議」や「分散会」を行い各事務職員が意見交換をできる時間を作っています。

年間4回の研修会になりますが「全員参加」の研修会づくりを目指しています。

各支援室の紹介

始良市事務職員研修会には5つの支援室があります。それぞれ特徴をあげるとすれば

迫力のある龍門滝「加治木支援室」 6名

発展する商業地区「帖佐支援室」 6名

歴史浪漫的白銀坂「重富支援室」 5名

かかしと凱旋門「山田支援室」 4名

日本一の大クス「蒲生支援室」 3名

のような感じになりますかね？

どこの支援室も室長を中心にバランスの良い職員構成で月に2回の支援室です。

主に認定事務を中心に県費事務・市費事務の相互サポート体制が作られています。

最後になりますが、始良市の事務職員研修会も各支援室も和気あいあいと研修意欲も旺盛です。今後も事務職員の資質向上と学校運営に参画する事務職員を目指して活動して行きます。



始良市名物「加治木まんじゅう」
お店ごとに特徴がありますぜひご賞味ください

活動経過及び予定

- 4月26日 理事会・会計監査
県教職員課・総務福利課
・福祉事業連絡会等訪問
- 6月19日 理事会
- 7月5日 第1回評議員会・総代会
県費事務改善検討委員会
事業説明会
- 7月26日 県費事務改善検討委員会

編集後記

ひと月ほど前になりますが、互助組合だよりが職場に届きましたね。和室がテーブル・イス使用の小会議室になったり、巻末のクロスワードパズルが数字パズルになったりと、新年度を機に変更されたことがいくつかあるようです。

そんな変更点の中で、ひときわ目を引くのは規程の改正でしょうか。結婚・配偶者の定義を改めて、「届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にあるもの及びパートナーシップを形成したものをいう」ようにしたとのこと。宣誓していなくても、居住地がパートナーシップ宣誓制度未導入でもOKだそうです。

結婚というものに関して、性にしろ姓にしろ「選べるようにする」だけのことがなかなか進みませんが、こんなところから変化させていくのも、重要な一歩なのかもしれません。選んでも構わないところが少しずつでも増えていけばなと。

それにしても、一つのメニューしかない老舗食堂があるとして、他のを選びたいと思っても「そこ」で「それ」をたのむしかないとなれば、そもそも入れないとなるだろうし。「我が国の伝統料理だから」なんて言われてもたかだか150年程度のこと。ぜひ選ぶ喜びを提供できる食堂に近づいていくことを願います。深く思考することなく「伝統料理」を嬉々として注文した身ではありますけれども... 函